

溪流の縦横浸食量の増加に伴う山地災害リスクについて

近年の気候変動から短時間強雨など降水形態が変化し、溪流における流量等が増加している事に伴い、溪流の縦・横方向共に立木を巻き込んだ浸食量が増加して溪岸が不安定化しているとともに、土砂の流出量が増加する事や、溪流内・溪流沿いの立木が流木化するリスクが高まっている。

森林整備を実施することにより、浸透能・保水力を有する森林土壌の保持回復に努めたい。また、溪流沿いの立木で浸食を受け既に根が浮くなどして流木化する恐れのある危険木は、伐採し除去したい。しかしながら、根が浮いて傾いて折り重なっている立木は、伐採の際に足場が確保できず、切り離した際に跳ね上がるなど大変危険な作業となるため、重機も併用した安全な処理をする上で、重機が進入できる路網整備も併せて必須となる。

引用・参考文献：令和5年版 森林・林業白書



